

令和5年度 当初予算の概要

安来市

目次

- 1 財政健全化の状況 P1
- 2 令和4年度一般会計補正予算
(3月補正予算) ... P5
- 3 令和5年度一般会計当初予算 ... P8

1. 財政の健全化

R2.10 市長就任時

R2中財策定作業中、R2.12月補正編成目前

まず、取り組むべきは ⇒ 市財政の健全化

- 1年目
 - R2 12月補正 市債繰上償還 383,287千円
- 2年目
 - 3月補正 市債繰上償還 273,840千円
 - R4 3月補正 市債繰上償還 258,667千円
 - R4 3月補正 財調基金積立 450,000千円(取崩300,000千円)
150,000千円積戻しの効果
- 3年目
 - R5 3月補正 市債繰上償還 237,600千円
 - R5 3月補正 財調基金積立 300,000千円(取崩△200,000千円)
500,000千円積戻しの効果

R元中財 R3財政調整基金枯渇

予算編成困難な状況が想定される
市民生活に多大な影響

R2中財 R4財政調整基金枯渇

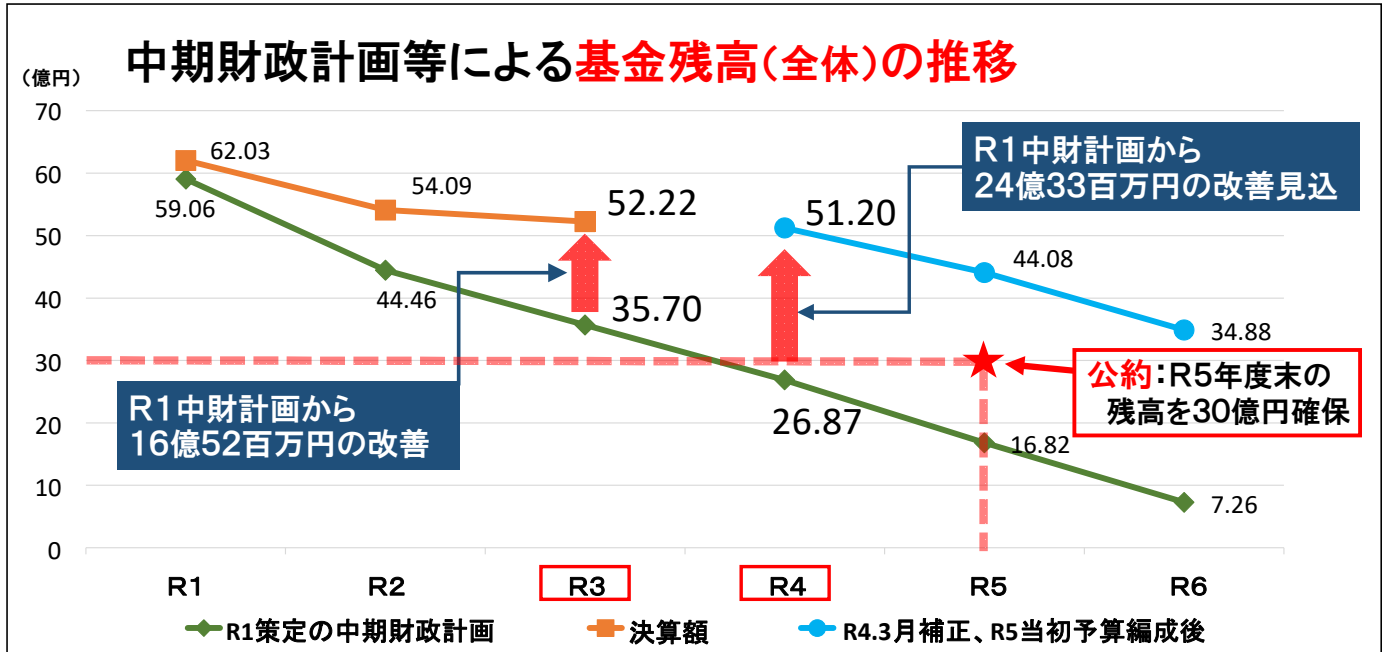
R3中財 R6財政調整基金枯渇

R4中財 R9財政調整基金枯渇

財政調整基金枯渇遠く(残高確保)

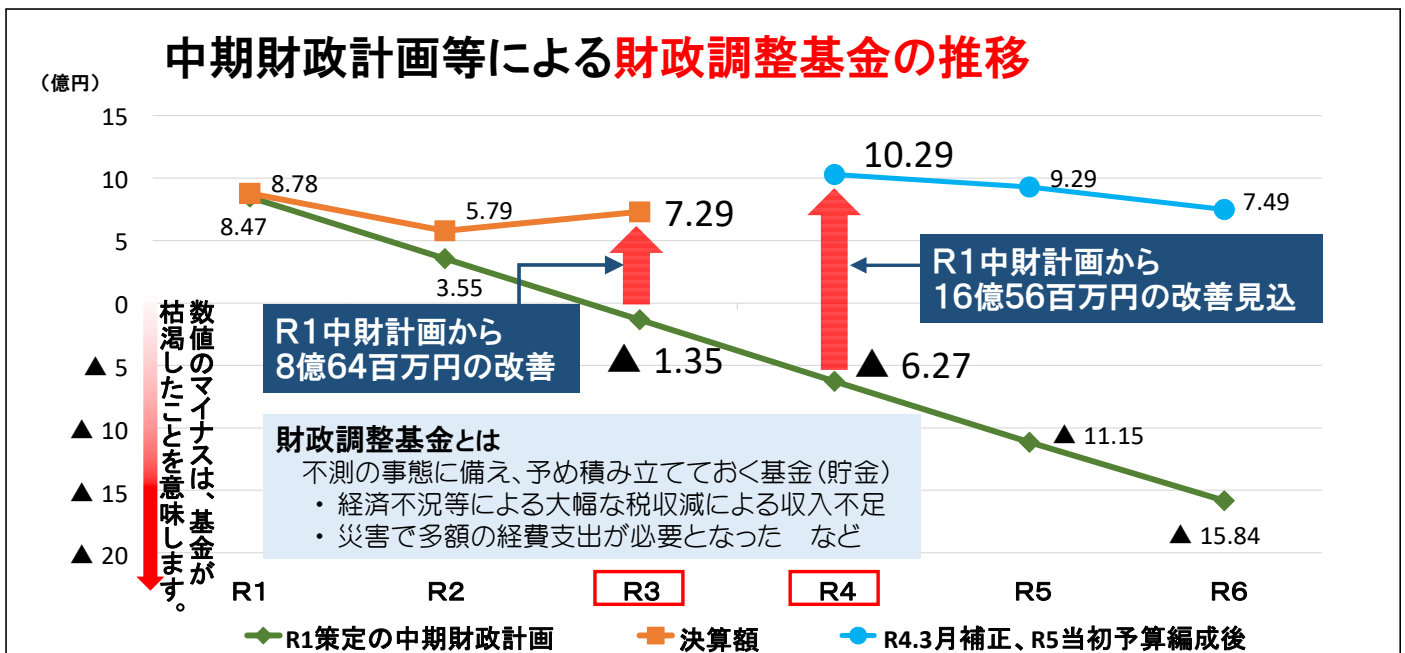
財政健全化の成果①

基金残高(貯金)の減少カーブが改善(基金の取り崩しを抑制)



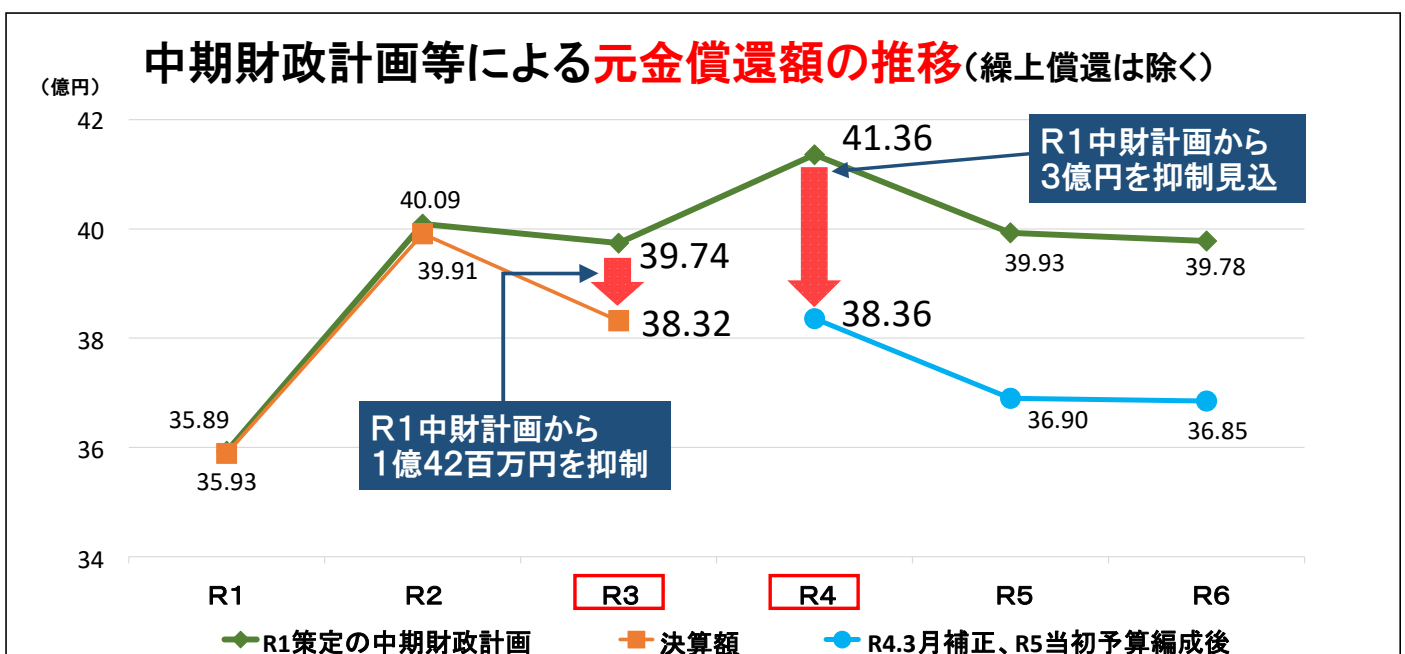
財政健全化の成果②

財政調整基金の減少カーブが改善(繰越金の一部を積み増し)



財政健全化の成果③

公債費負担(借入金)を抑制(財政構造改革を推進)



令和4年度一般会計補正予算 (3月補正予算)

5

2. 令和4年度一般会計補正予算(第10号)

1 補正予算の概要

障がいのある方を総合的に支援するための障がい者総合支援事業、病院事業会計へ必要な経費を負担する病院事業会計負担金、島根県で実施している農業農村整備事業に負担金を支出する県営農業農村整備事業負担金事業、市有施設の指定管理を行っている(一財)夢ランドしらさぎ振興事業団に対し補てんを行う指定管理施設補てん金、強い寒気に伴い積雪量が増加したことに対応するための除雪対策事業、翌年度以降の公債費負担の軽減・平準化を図るための市債繰上償還、さらに翌年度以降の不測の事態に備えるため財政調整基金への積立金を計上しました。

【歳入歳出総額】	補正前	26,786,704千円
	補正額	255,000千円
	補正後	27,041,704千円(対前年同月比△3.7%)
	※参考:	令和3年度3月補正後予算額 28,092,970千円

【繰越明許費の補正】	10件の追加
【債務負担行為の補正】	14件の追加、1件の廃止
【地方債の補正】	12,500千円の増額

6

令和4年度一般会計補正予算(第10号)

2 主な補正事業の内訳

	事業名	事業費
(1)	安来市立病院経営強化プラン策定支援業務	債務負担行為
(2)	シニア世代スマホ購入支援事業	△ 4,500千円
(3)	やすぎマイナポイント付与事業	△ 54,404千円
(4)	障がい者総合支援事業	54,175千円
(5)	企業会計負担金費(病院事業)	87,804千円
(6)	県営農業農村整備事業負担金事業	28,654千円
(7)	指定管理施設補てん金	20,000千円
(8)	除雪対策事業	100,000千円
(9)	消防団車両整備事業	△ 13,180千円
(10)	小学校整備事業	△ 9,200千円
(11)	市債繰上償還	228,505千円
(12)	基金積立金	298,895千円

※コロナ交付金事業や国補正予算に伴う事業は繰越明許を設定し、R5当初予算と一体的に執行する。

3 繰上償還と基金積み立て

一定の財政運営のルールに基づいて、財政調整基金に積み立て(3億円)と財政調整基金取崩し(2億円)の中止を行うもの、あわせて、財政健全化の取り組みの効果により、繰上償還(2億3千万円)を行うもの。

①財政調整基金年度末残高の改善

補正前 補正後

- ・令和4年度末 528,973千円 → 1,028,973千円
- ・令和5年度末 428,973千円 → 929,489千円

②市債繰上償還によるR5以降の公債費負担の抑制

効果額	元金	利子
R5	47,520千円	1,486千円
R6	47,520千円	1,177千円
R7	47,520千円	863千円
R8	47,520千円	549千円
R9	47,520千円	238千円
計	237,600千円	4,313千円

令和5年度一般会計予算

令和5年度当初予算(一般会計)歳入・歳出

一般会計予算

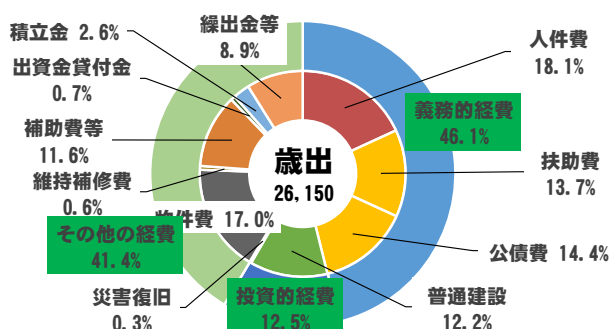
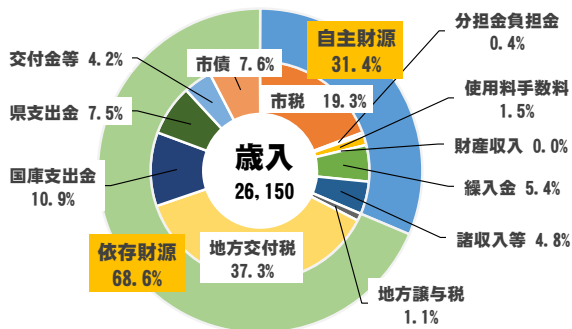
261.5億円 (前年度 251.5億円(10億、4.0%増))

歳入 (単位:千円)

区分	5年度	4年度	対前年度比
自主財源			
市税	5,051,010	4,966,055	1.7%
分担負担金	91,958	112,941	△ 18.6%
使用手数料	395,461	408,443	△ 3.2%
財産収入	12,719	14,317	△ 11.2%
繰入金	1,405,178	1,350,079	4.1%
諸収入等	1,258,259	992,622	26.8%
計	8,214,585	7,844,457	4.7%
依存財源			
地方譲与税	282,001	281,501	0.2%
地方交付税	9,750,000	9,660,000	0.9%
国庫支出金	2,852,430	2,624,828	8.7%
県支出金	1,959,149	2,088,969	△ 6.2%
交付金等	1,093,135	1,110,645	△ 1.6%
市債	1,998,700	1,539,600	29.8%
計	17,935,415	17,305,543	3.6%
合計	26,150,000	25,150,000	4.0%

歳出(性質別) (単位:千円)

区分	5年度	4年度	対前年度比
経務的経費			
人件費	4,720,227	4,716,267	0.1%
扶助費	3,569,922	3,614,265	△ 1.2%
公債費	3,760,178	3,930,515	△ 4.3%
計	12,050,327	12,261,047	△ 1.7%
投資的経費			
普通建設	3,188,146	2,475,902	28.8%
災害復旧	87,450	248,382	△ 64.8%
計	3,275,596	2,724,284	20.2%
その他の経費			
物件費	4,440,449	4,037,913	10.0%
維持補修費	152,268	150,252	1.3%
補助費等	3,026,672	2,843,271	6.5%
出資金貸付金	178,160	177,360	0.5%
積立金	692,531	669,846	3.4%
繰出金等	2,333,997	2,286,027	2.1%
計	10,824,077	10,164,669	6.5%
合計	26,150,000	25,150,000	4.0%



「次の世代につなげる安来市づくり」の実践

これまでの2年間の改革の成果を活かし、各種施策を力強く前進させる。

将来のまちづくりに向けたオールやすぎの取り組み

- ・ 人口対策
- ・ 住民サービス向上(デジタル化推進)
- ・ 公共施設マネジメント

スピード感を持って決断、実行する「市政運営」

1. 人口対策

337,473千円

- ①まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂(デジ田反映)【**拡充**】…………… 550千円
- ②高校魅力化推進事業【**拡充**】……………7,627千円
- ③下宿高校生支援事業【**継続**】……………8,350千円
- ④定住サポートセンター事業【**拡充**】……………34,172千円
- ⑤特定地域づくり事業推進交付金【**継続**】……………13,880千円
- ⑥中山間地域空き家活用推進モデル事業費補助金【**継続**】……………10,419千円
- ⑦担い手経営発展支援事業費補助金【**拡充**】……………26,313千円
- ⑧ハウス等整備支援事業費補助金【**継続**】……………48,890千円
- ⑨地域おこし協力隊事業【**継続**】……………18,352千円
- ⑩つながり創出による市内就職促進事業【**新規**】……………4,176千円
- ⑪企業立地推進事業(サテライトオフィス補助金)【**新規**】……………98,000千円
- ⑫お試しサテライトオフィス事業【**新規**】……………3,444千円
- ⑬企業立地雇用促進事業【**拡充**】……………63,300千円

11

1. 人口対策

⑩つながり創出による市内就職促進事業 4,176千円

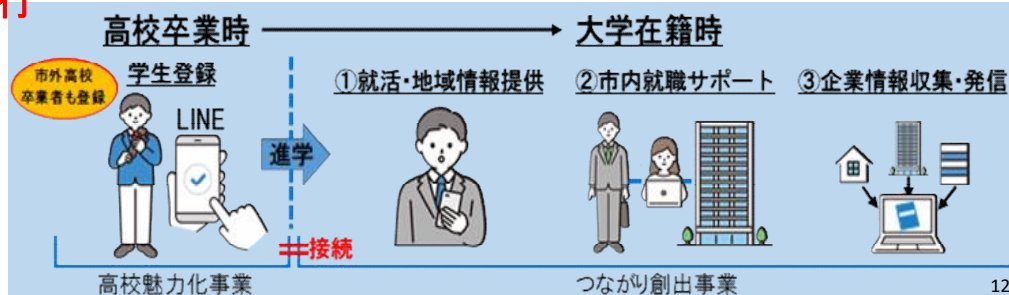
【新規】

【現状】・転出のうち約半数が「就職」、「転職、転業」との理由
 ・20代前半までの新卒就職時の転出の割合が多い

【事業内容】

主に市内出身の大学生に対してSNSによる情報発信や就活生と市内企業のマッチングイベントの開催等を行い、若年層の市内就職を促進する。

- ①定住財団が運営するしまね登録(学生登録)の公式LINEを活用し、情報を発信
- ②**市内企業就活イベントの開催**、県学生就職アドバイザーと連携したUIターン就職支援、出張就職支援セミナーの開催(広島、大阪)
- ③**市内企業情報ガイドブックの発行**



高校魅力化事業

つながり創出事業

12

⑪ 企業立地推進事業(サテライトオフィス補助金)

98,000千円

【新規】

企業の働き方改革やリモートワークの広がりを追い風に、場所を問わないワークスタイルが可能なIT企業等の地方への移転やサテライトオフィスの開設が活発化している。

市内物件所有者やオフィス運営者等に対して補助金を交付することでサテライトオフィス等の整備を支援するとともに、IT企業等を誘致して新たな雇用機会を創出し、地方移住を促す起爆剤とする。

● サテライトオフィス等整備補助金 補助率:1/2、補助金上限3,000千円(2件)

市内空き物件をサテライトオフィス等に整備する者に対し、その整備費について補助金を交付。

● サテライトオフィス等整備・運営補助金 補助率:3/4、補助金上限90,000千円(1件)

複数の企業が入居でき、新たな交流拠点となるサテライトオフィス等を整備する者に対し、その整備費等について補助金を交付。

● サテライトオフィス等企業進出支援金 1社あたり1,000千円(2件)

上記により整備したサテライトオフィス等に進出する企業に支援金を交付。

13

⑫ お試しサテライトオフィス事業 3,444千円

【新規】

「サテライトオフィス等整備補助金」を活用して整備されたサテライトオフィス1施設を市で借り上げ、IT企業を想定したオフィス環境を整備し、市内に進出を検討する企業等に1日～3か月程度の期間を低価格で利用してもらい、安来市でのお試し勤務を体験してもらう。地域外の企業がすぐに仕事ができるオフィス環境を整えることで、当施設を安来市での立地の足がかりの場とし、他に整備するサテライトオフィスや空き店舗等への入居につなげる。

物件所有者

- ・施設整備
- ・市への有償貸出し

安来市

- ・日常維持管理
- ・利用希望者への貸出し
- ・利用希望者への滞在支援
(管理は委託する場合も)

民間企業

- ・お試しワーク

14

2. 住民サービス向上(デジタル化推進) 101,500千

①自治体DX推進事業【新規】 (統合型GIS、AIチャットボット、公共施設等予約システム等) ……	11,205千円
②マルチタスク車両導入事業【新規】 ……	18,470千円
③マイナンバーカード利活用推進事業【継続】 ……	4,896千円
④出納事務効率化(コンビニ収納、QR決裁手数料一元化)【新規】 ……	3,982千円
⑤キオスク端末導入事業【新規】 ……	6,776千円
⑥窓口受付支援システム導入事業【新規】 ……	24,979千円
⑦マイナンバーカード交付事業【拡充】 ……	15,639千円
⑧eスポーツ機会創出事業【新規】 ……	1,000千円
⑨医療扶助オンライン資格確認システム導入事業【新規】 ……	6,953千円
⑩林業DX推進事業【新規】 ……	7,600千円

15

2. 住民サービス向上(デジタル化推進)

①自治体DX推進事業 11,205千円

- 統合型GIS調査事業 **【新規】**
島根県統合型GIS(マップonしまね)の活用の拡充や、**市独自の統合型GIS導入**について検討を行う。
- AIチャットボット事業
市ホームページと市公式LINEで導入したAIチャットボットの運用を開始する。
※R5.4.3から運用開始
- 公共施設等予約システム事業
市が所管する施設等のオンライン予約を行うシステムの運用を開始する。
※R5.4.3から運用開始
(利用予定施設)
十神山なぎさ公園、中海ふれあい公園、安来・広瀬・伯太運動公園、安来中央交流センター等

16

② マルチタスク車両導入事業 18,470千円

【新規】

マルチタスク車両を交流センターや集会所等に派遣し、市の総合行政システムと専用回線で繋ぎ行政サービスを提供する。



車両イメージ



車両イメージ (内装)

⑤ キオスク端末導入事業 6,776千円

【新規】

コンビニエンスストア等にあるマルチコピー機と同様の機器を市役所1Fに設置し、市民が直接操作することで、証明書を自動作成するサービスを開始します。窓口で待つことなく、証明書等をスムーズに発行できます。



マルチコピー機

⑥ 窓口受付支援システム導入事業 24,979千円

【新規】

マイナンバーカードの利活用および窓口のスマート化を図る目的で、窓口受付支援システムを導入し、職員の聞き取りにより各種届や申請書を作成する「書かない窓口」を目指します。

▼情報弱者、異動の届出者⇒「書かない窓口」で負担軽減
※デジタル田園都市国家構想推進交付金(優良モデル導入支援型:補助率1/2)活用予定

「書かない窓口」の流れ

住民が身分証明書を提示し、申請内容を伝える

職員がパソコンで必要な個人情報を探し出し、申請書を作成、印刷

住民が申請書に署名。これに基づき各種手続きへ

⑧ eスポーツ機会創出事業 1,000千円

【新規】

年齢や性別、障がいの有無等に関係なくオンライン上で交流できる「eスポーツ」のイベントを安来市総合文化ホールで開催することで、関係人口の拡大や地域の活性化につなげる。本イベントは、市内のジュニア世代を主なターゲットとするが、高齢者も気軽に参加いただくことで、世代間交流を深めることも狙いとする。



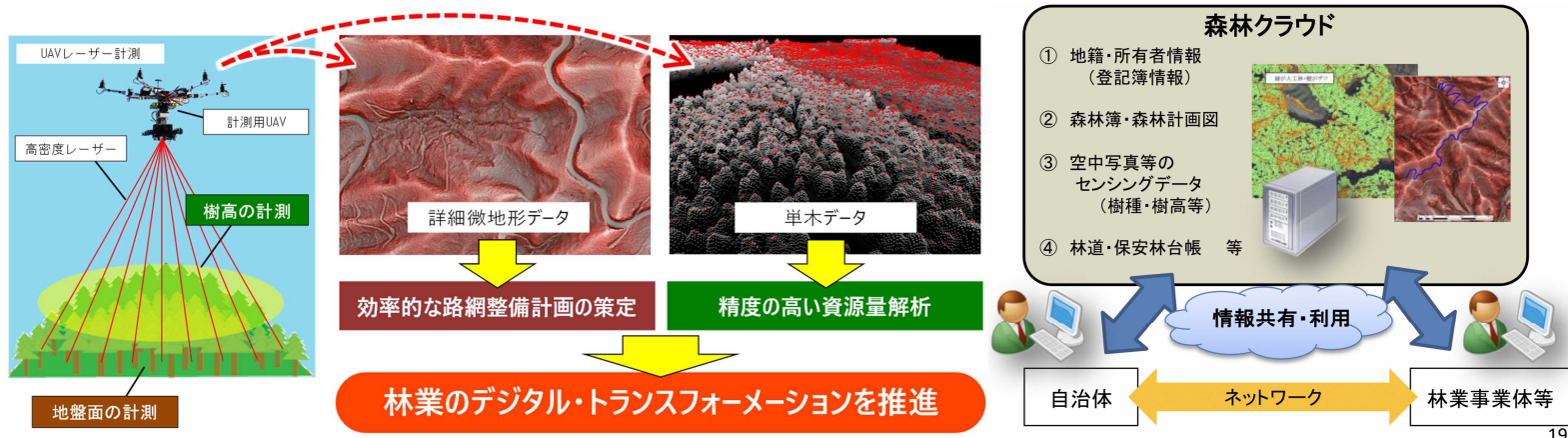
企画① eスポーツ体験会・競技会
団体eスポーツ採用をはじめとした世界的人気タイトル(ぶよぶよ等)が気軽に体験できるブースを展開する。

○情報科学高校eスポーツ研究会の生徒がプレイ中

⑩ 林業DX推進事業 7,600千円

【新規】

県において設定された上吉田地区の循環型林業拠点団地で、高精度なUAVレーザー計測によりデジタル情報化した森林の地形や資源量を、県が整備する森林クラウドシステムで共有化し、林業事業者による施業計画や路網整備計画の策定に活用可能とすることで、林業DXの推進を図る。



3. 公共施設マネジメントの推進

443,594千円

- ①火葬場改修事業(長寿命化、レッドゾーン対策)【拡充】.....38,000千円
- ②市内スポーツプール長寿命化調査【新規】.....5,000千円
- ③養護老人ホーム鴨来荘整備事業【新規】.....120,000千円
- ④長谷津団地譲渡関係事業【拡充】.....40,280千円
- ⑤比田地区防災拠点施設整備事業【新規】.....127,280千円
- ⑥市内プール、学校プールの効率的利用【拡充】.....1,870千円
- ⑦和鋼博物館改修事業【新規】.....8,819千円
- ⑧日本遺産「金屋子神社」「西比田の町」説明板【新規】.....4,345千円
- ⑨安来節演芸館改修事業【新規】.....98,000千円

③ 養護老人ホーム鴨来荘整備事業 120,000千円

【新規】

老朽化した養護老人ホーム鴨来荘の移転整備を行う。令和4年度に策定している基本計画に基づき、令和5年度は基本設計および実施設計、令和6年度から建設工事に着工する。

⑤ 比田地区防災拠点施設整備事業 127,280千円

【新規】

広瀬町西比田にある旧トスカ工場棟を解体し、ヘリポート、比田分駐所、比田分団拠点施設の整備を行う。



【整備スケジュール(予定)】

- R5 建築設計、土木設計、解体工事、土地購入
- R6 新築工事、造成工事
- R7 比田分駐所解体工事

⑦ 和鋼博物館改修事業 8,819千円

【新規】

●建物設備改修

和鋼博物館及びやすぎ図書館の建物設備改修に向けた長寿命化計画の策定。

R5: 調査、長寿命化計画 R6~: 建物設備改修

●展示改修

研究者、観光団体などからなる展示計画委員会を組織し、基本計画を作成。

R5 基本計画作成 R6 実施計画作成 R7~ 展示改修

⑧ 日本遺産「金屋子神社」「西比田の町」説明板 4,345千円

【新規】

旧金屋子神話民俗館敷地に日本遺産「金屋子神社」及び「西比田の町」を紹介する説明板を設置し、たたらゆかりの地を訪問する人の流れを促進する。

⑨ 安来節演芸館改修事業 98,000千円

【新規】

安来節演芸館の設備改修に向けた設計を踏まえ、令和5年度は空調設備等の改修工事を実施する。

4. 新型コロナウイルス感染症対策 & 物価・原油価格高騰対策

250,914千円

①新型コロナウイルス対策事業【継続】	1,000千円
②新型コロナウイルス感染症対策事業【継続】	9,500千円
③新型コロナウイルスワクチン接種事業【継続】	95,826千円
④小中学校感染防止対策事業【継続】	660千円
⑤やすぎ家計応援商品券事業【R4繰越】	124,155千円
⑥肥料価格高騰対策事業【R4繰越】	11,497千円
⑦畜産飼料価格高騰対策事業【R4繰越】	8,276千円

23

令和5年度主要施策

1 保健・医療・福祉

1 健康増進事業(フレイル予防)	P26
2 医師・看護師等確保対策事業	P26
3 公立病院改革推進事業	P26
4 災害時個別避難計画作成事業	P26

2 子育て・教育・文化

5 子育て施設整備事業	P27
6 出産・子育て応援交付金事業	P27
7 放課後児童健全育成事業	P27
8 学校施設整備事業	P28
9 小中学校の適正配置事業	P28
10 スクールバス運行事業	P29
11 図書館情報システム更新事業	P29
12 はくた文化学習館図書館空調機更新事業	P29
13 特別支援教育・就学移行支援事業	P29
14 学校現場業務改善実践研究事業	P30
15 部活動地域指導者活用支援事業	P30
16 教育支援センター機能拡充事業	P30
17 給食センター事業	P30
18 伯太体育館耐震改修事業	P31
19 国スポ・インターハイ準備事業	P31
20 国際交流推進事業	P31

3 防災・防犯

21 防災行政無線撤去事業	P32
22 農業水路等長寿命化・防災減災事業	P32
23 常備消防整備事業	P32
24 消防団車両整備事業	P33
25 交通安全施設整備事業	P33

4 産業・観光・雇用

26 園芸施設整備事業	P34
27 有害鳥獣駆除事業	P34
28 多面的機能支払交付金事業	P35
29 林業人材育成拠点整備事業	P35
30 森林環境整備総合対策事業	P35
31 県営農業農村整備事業	P35
32 商業再生支援対策事業	P36
33 商工業振興事業(刃物まつり)	P36
34 中小企業金融対策事業(創業者向け保証料制度)	P36
35 産業サポートネットやすぎ事業	P36
36 産業振興事業(特殊鋼産業クラスター補助)	P36
37 観光キャンペーン事業	P37
38 月の輪まつり事業	P37
39 戦国尼子フェスティバル事業	P37
40 湯田山荘施設改修事業	P37

24

5 都市基盤・生活

41	デマンドタクシー運行事業	P38
42	安来港飯島線道路改良事業	P38
43	原代宮内線道路改良事業	P38
44	久之谷線道路改良事業	P38
45	公営住宅等長寿命化改善事業	P39
46	内水対策事業	P39
47	移動通信用鉄塔整備事業	P39
48	末広・大栄団地関連事業	P40
49	長谷津団地譲渡関連事業	P41

6 自然・環境保全

50	再生可能エネルギー普及事業(ビジョン関連)	P42
51	再生可能エネルギー普及事業	P42
52	総合文化ホール整備事業(LED化)	P43
53	南体育館照明器具整備事業(LED化)	P43
54	屋外照明灯LED化事業	P43

7 参画・協働・行財政

55	地域づくり推進事業	P44
56	協働のまちづくり事業	P44
57	小さな拠点づくり推進事業	P45
58	小型除雪機購入支援事業	P45

25

1. 保健・医療・福祉 56億8,368万円

1 健康増進事業(フレイル予防) 【新規】 1,000万円

健康寿命の延伸を目指して、効果的なフレイル予防事業を実施していくために庁舎内外の関係機関と連携し、高齢者の実態把握及び事業実施における評価指標の検討、官民連携による事業実施体制の構築を進める。

2 医師・看護師等確保対策事業 【拡充】 593万円

島根大学医学部地域枠及び安来市の奨学金を受けた者を中心に、安来市の地域医療に対する関心を深める場として、医療従事者を交えた交流会等を開催する。また、医師・薬剤師及び看護職の養成及び確保に資することを目的とし、安来市出身の医学生、薬学生、看護学生に奨学金を貸与する。
・奨学金貸与予定者 医師、薬剤師 3人 看護師 11人

3 公立病院改革推進事業 【継続】 1,207万円

持続可能な地域医療提供体制の確保に向けて、国から示された「公立病院経営強化ガイドライン」に基づき、「安来市立病院経営強化プラン」の策定を行う。
また、既存のプランの評価を行いながら、安来市立病院の経営改善を図る。

4 災害時個別避難計画作成事業 【新規】 274万円

災害時に第三者の支援を受けなければ避難行動をとることが難しい者が、スムーズに避難支援を受けられるように、避難経路や避難支援者等を個々の状況にあわせて避難計画として作成する。

26

2. 子育て・教育・文化 52億4,145万円

5 子育て施設整備事業 3,744万円

(1) 市立保育所整備事業【拡充】 3,044万円

保育所・認定こども園施設の破損、劣化等による危険箇所を確認し、維持修繕・工事を実施する。

(実施事業)

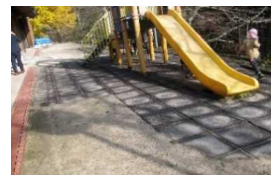
- ・認定こども園安田空調改修工事
- ・認定こども園荒島第一園舎プール修繕工事
- ・認定こども園赤屋遊具改修工事
- ・認定こども園大塚プール修繕工事 ほか

(2) 放課後児童クラブ施設整備事業【新規】 700万円

赤屋っ子クラブが使用しているエアコンが老朽化していることから更新をする。



認定こども園荒島第一園舎プール修繕工事



認定こども園赤屋遊具改修工事

6 出産・子育て応援交付金事業【新規】 930万円

全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるように、妊娠届出や出生届出を行った妊婦及び出生したこどもを養育する者に対し、出産育児関連用品の購入費や子育て支援サービスの利用負担軽減を図る経済的支援を実施するため、出産・子育て応援給付金を給付する。

- ・出産応援給付金(妊娠届出時) : 妊婦1人当たり50千円
- ・子育て応援給付金(出生届出時) : 出生したこどもを養育するものを対象に、新生児1人当たり50千円

7 放課後児童健全育成事業【拡充】 1億6,719万円

保護者が労働等により昼間家庭にいない児童を対象に、放課後に「遊びの場」「生活の場」を提供し、子どもの主体性を尊重しながら健全な育成を図るため、各小学校区において放課後児童健全育成事業を実施する。

令和5年度より統一した「児童クラブ利用料」を市が徴収し、食料費等の「実費負担金」は別途各クラブで徴収する。あわせて、利用料の口座振替及びコンビニ収納を実施する。

8 学校施設整備事業 1億8,312万円

(1) 小学校施設整備事業【拡充】 1億4,422万円

- 屋内運動場照明設備等の落下防止対策工事を行う(4校)。これにより市内全小学校が対策済となる。
- 学校施設の修繕工事等を実施し、充実した学習環境の整備を図る。
 - ・空調設備改修工事(3校)
 - ・消防・防火設備改修工事(2校)
 - ・施設整備工事(1校)

(2) 中学校施設整備事業【拡充】 3,890万円

- 屋内運動場照明設備等の落下防止対策工事を行う(1校)。これにより市内全中学校が対策済となる。
- 学校施設の修繕工事等を実施し、充実した学習環境の整備を図る。
 - ・空調設備改修工事(2校)
 - ・校舎等防水対策工事(1校)

9 小中学校の適正配置事業 186万円

(1) 事務局費(小中学校適正配置審議会)【継続】 105万円

小中学校適正配置検討のため、安来市小中学校適正配置審議会を開催する。8月(予定)に審議会からの答申を受けて、計画策定に向けての方向性の検討を行っていく。

(2) 学校運営協議会(コミュニティ・スクール)事業【新規】 81万円

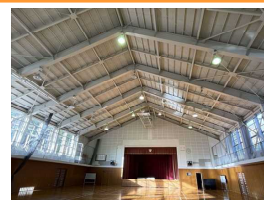
地域総掛かりで子どもを育てていこうとする土壌を礎に、学校・家庭・地域が一体となって安来市の子どもの豊かな成長を支える教育活動をより充実させるため、持続可能な仕組みである、「学校運営協議会(コミュニティ・スクール)」を導入する。コミュニティ・スクールと共育協働活動の一体的推進により、大人も子どもも共に学び合い、成長し合う魅力ある学校づくり、地域づくりを推進する。

4月～8月 先進事例研究検討

9月～12月 モデル校にてコミュニティ・スクール導入に向けた具体的検討

1月～ モデル校にてコミュニティ・スクール導入運用開始(市内1校区を想定)

2. 子育て・教育・文化



屋内運動場照明設備等改修



屋内運動場照明設備等改修



空調設備改修工事



安来市小中学校適正配置審議会の様子

2.子育て・教育・文化

10 スクールバス運行事業【拡充】 2,295万円

比田小学校、山佐小学校、布部小学校において遠距離通学となる児童が円滑に登下校できるようスクールバスを運行する。また市内の小中学校の校外活動のための特別臨時便を運行する。所有するバス3台のうち、1台の車両更新を行う。

(スクールバス運行コース)

- 東比田地区～比田小学校
- 奥田原地区～山佐小学校
- 西谷地区～下布部地区～布部小学校



スクールバスによる遠足の様子(布部小学校)

11 図書館情報システム更新事業【新規】 3,702万円

現在使用中の図書館システムが令和5年6月で販売及び保守管理が終了となることに伴い、旧システムから新システムにデータを移行し、新システムの構築、運用を行う。

12 はくた文化学習館図書館空調機更新事業【新規】 905万円

図書室における空調機器について、利用者が快適に施設を利用できるようR5、6年度の2年間で計画的に更新を行う。



絵本コーナー空調吹出口

13 特別支援教育・就学移行支援事業【拡充】 8,328万円

指導講師及び支援員を配置し、児童生徒へ支援を行う。また、就学前の幼児に対し、発達相談等を行うとともに、支援が必要と思われる幼児とその保護者には継続電話相談や『すこやか教室』での相談・支援を行う。

29

2.子育て・教育・文化

14 学校現場業務改善実践研究事業・学習支援員・スクールサポート他【拡充】 3,890万円

教職員の働き方改革と学校教育の質の向上を図るための実践研究を行う。あわせてスクールサポートスタッフを配置し学校事務の軽減を行う。また、教員不足に対応するために緊急校務支援員等を配置する。

15 部活動地域指導者活用支援事業【継続】 582万円

中学校の部活動において、より専門的な指導を行うために実技指導力を備えた地域の社会人指導者(地域指導者)の活用を支援することにより、部活動の活性化および教員の働き方改革を図る。また部活動の地域移行についての検討を開始する。

16 教育支援センター機能拡充事業【新規】 422万円

不登校児童・生徒の受け皿として、能義こども園を教育支援センターの分室とし、不登校児童・生徒の居場所作りを行う。



レクリエーションの様子



制作活動の様子

17 給食センター事業 4億5,515万円

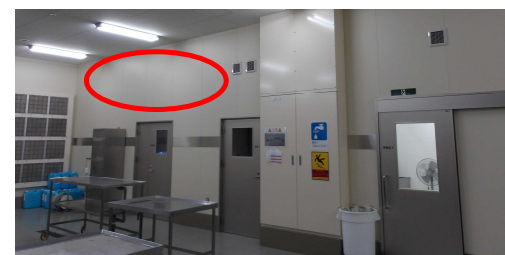
(1) 給食センター施設整備事業【新規】 693万円

洗浄室が夏季に高温多湿となるため、作業環境を改善するための空調設備を設置する。

(2) 給食センター管理事業【拡充】 4億4,822万円

全小中学校、安来幼稚園に給食を提供する。(約3,100食)

令和5年度から学校給食費の公会計化に伴い、市が学校給食費を徴収し、給食食材の調達及び支払いを行う。



設置予定箇所 (安来市給食センター洗浄室)

30

18 伯太体育館耐震改修事業 **【新規】** 1億6,650万円

発災時の避難所にも指定される伯太体育館について、基準を満たすように耐震改修を行うとともに、特定天井落下の防止対策として天井改修を行う。併せて、照明器具のLED化、受変電設備等の改修も実施する。
 ※令和5年度と令和6年度の2か年で工事を実施。



現在の伯太体育館外観

19 国スポ・インターハイ準備事業 **【新規】** 379万円

令和7年度「全国高等学校総合体育大会」は中国ブロックで開催され、安来市は「フェンシング」競技の開催地となることが決定した。
 また、令和12年度は「第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会」が島根県で開催され「テニス」「バレーボール」「フェンシング」の3種目を安来市で開催することが決まっている。
 大会の開催に向け、競技力向上を目指すとともに、市民の機運醸成を図るため、各競技団体との調整など事前準備を進めていく。



令和4年度インターハイ（フェンシング）の様子

20 国際交流推進事業 **【継続】** 398万円

国際姉妹都市である韓国・密陽市との交流を進め、相互理解を深めるとともに市民に交流の機会を提供する。
 また、令和5年2月に友好交流都市覚書を締結した台湾・新店区と産業・観光・教育・スポーツ・文化芸術・人材育成等幅広い分野で交流を進める。



新店区との友好交流都市覚書締結式

3. 防災・防犯 10億1,625万円

21 防災行政無線撤去事業 **【新規】** 1,890万円

伯太防災行政無線設備（令和3年5月末廃止）について、令和5年度から令和7年度にかけて撤去する。

- （令和5年度）上ノ代中継局、屋外子局10基
- （令和6年度）伯太庁舎親局、屋外子局20基
- （令和7年度）屋外子局20基



屋外子局



上ノ代中継局

22 農業水路等長寿命化・防災減災事業 **【継続】** 950万円

下流域に影響を及ぼす恐れのある老朽化したため池について、災害発生の未然防止を図るため、堤体の整備を行う。

- 設計委託料（茶屋、梅木谷 2箇所）
- 工事請負費（稲積 1箇所）

23 常備消防車両整備事業 **【拡充】** 4,000万円

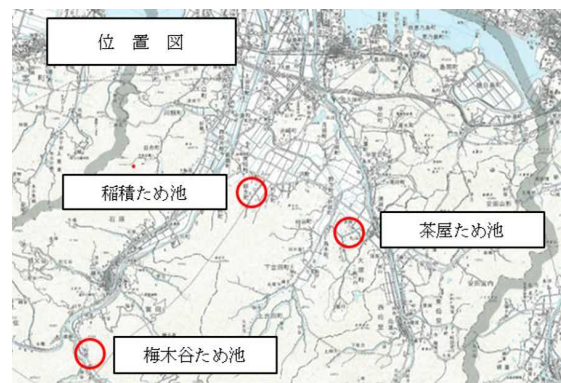
平成13年に整備した救助工作車及び平成19年に整備した高規格救急車の更新を行う。なお、救助工作車は半導体不足等により単年度納車が難しいため、債務負担行為を設定し令和6年度に納車を行う。



更新を行う救助工作車



更新を行う高規格救急自動車



24 消防団車両整備事業【継続】 1,000万円

24時間体制で各種災害への対応を図るため非常備施設の不備を未然に防ぎ、消防力の充実強化を行う。更新計画に基づき老朽化した車両、資機材を整備し、消防力の充実強化を行い、各種災害への対応を図る。また、水利が少ない地域には計画的に消防水利を整備し、消火体制の充実を図ると共に火災による被害を軽減し、市民に安全と安心を提供することを目指す。

- 資機材搬送車1台(母里分団)



資機材搬送車(イメージ)

25 交通安全施設整備事業【拡充】 1,900万円

カーブミラーや防護柵の設置、照明灯の支柱立替、区画線修繕など交通安全施設の新設・補修を行い、市道交通環境の整備・改善を図る。



通学路安全対策
(区画線修繕)

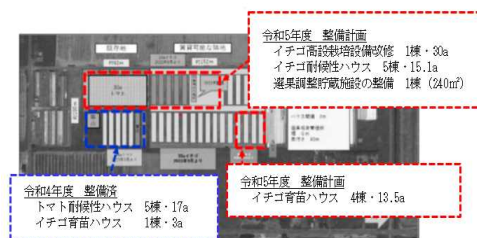
4. 産業・観光・雇用 29億6,641万円

26 園芸施設整備事業【新規】 8,564万円

国の農山漁村振興交付金を活用し、中海干拓地において新たにイチゴ栽培に取り組む経営体の施設整備に要する経費に対し支援を行う。

【事業計画】

- R4: トマトハウス5棟、イチゴ育苗ハウス1棟
- R5: イチゴハウス5棟、イチゴ育苗ハウス4棟、イチゴ高施設改修1棟、選果調整貯蔵施設1棟
- R6: イチゴハウス15棟



施設の整備計画

27 有害鳥獣駆除事業【拡充】 2,403万円

近年、農作物鳥獣被害が増加していることから、予算を拡充し対応可能な体制を整える。

- 有害鳥獣被害に対する農家の自衛対策に係る経費(ワイヤーメッシュ、支柱、電気柵等の購入)への補助
・有害鳥獣被害防止対策補助金 7,000千円 設置経費の1/2以内(限度額:個人10万円、団体30万円)
- 猟友会による有害鳥獣捕獲に対する補助及び関係団体で組織する鳥獣被害防止対策協議会に対する補助
・有害鳥獣捕獲補助金 10,000千円 イノシシ・シカ 10,000円/頭×1,000頭
・鳥獣被害防止対策協議会補助金 1,000千円 国交付金と併せ、捕獲機材の整備等に係る経費を補助
※安来市鳥獣被害防止対策協議会:安来市猟友会・JA・東部農業共済・県・市等関係機関で組織
- 野鳥における鳥インフルエンザ等の鳥獣伝染病の対応に係る野生鳥獣の死骸の対応等



捕獲檻で捕獲したイノシシ



鳥獣被害防止対策補助金による柵設置状況

4.産業・観光・雇用

28 多面的機能支払交付金事業【拡充】 1億8,498万円

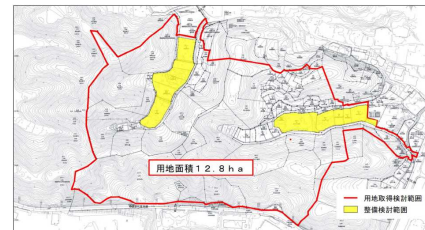
農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域共同による農地・農業用施設等の保全活動や地域資源の適切な保全管理のための推進活動に加え、農地周りの農業用排水路等の長寿命化のための更新や多面的機能の増進を図るための取組みに対して支援する。



交付金の構成

29 林業人材育成拠点整備事業【新規】 500万円

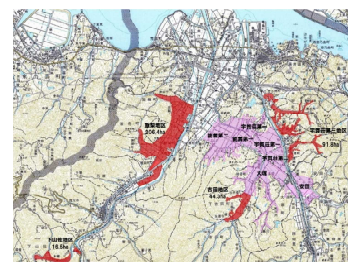
伯太町東母里・安田中地内の山林における「林業人材育成拠点」の整備に向け、拠点整備に係る基本構想に基づく基本計画策定を行う。※森林環境譲与税充当事業



計画箇所

30 森林環境整備総合対策事業【継続】 2,041万円

森林の多面的機能発揮と林業の成長産業化に向けた施策として、林業事業者による高性能林業機械や路網の整備、人材育成、インフラ周辺にある被災森林の処置その他森林整備の推進に係る補助金交付を行う。※森林環境譲与税充当事業



農業競争力強化基盤整備事業 計画区域図

31 県営農業農村整備事業【継続】 3億274万円

生産コストの低減や流通体制の整備、地域農業の活性化を目的に、県営事業により農業生産基盤整備を行う。

- ・吉田地区
- ・安田地区
- ・大塚地区
- ・宇賀荘第三地区
- ・飯梨地区
- ・下山佐地区

4.産業・観光・雇用

32 商業再生支援対策事業【拡充】 2,355万円

空店舗等へ出店を促すための家賃補助及び改装費補助、中山間地域における店舗整備及び移動販売車購入補助を実施する。(補助率1/2)

- ・家賃補助(継続分) 146,000円 対象3件
- ・新規開店補助 23,400,000円 @1,800,000円×13件

33 商工業振興事業(刃物まつり)【再開】 600万円

やすぎ刃物まつり実行委員会へ開催事業を委託し、ハガネの町安来をPRする。

34 中小企業金融対策事業(創業者向け保証料制度)【拡充】 290万円

中小企業が設備投資等による融資を受ける際の保証料の補給を行う。

- 中小企業設備貸与制度保証金補給 上限50万円/件
- 制度融資保証料補給 上限20万円/件
- 創業者向け保証料制度 上限20万円/件

35 産業サポートネットやすぎ事業【継続】 1,000万円

地域雇用の拡大、域外マネーの獲得(拡大)、市内循環型経済へのシフト、定住促進を目的として、商工会議所・商工会・JA・市で組織する産業サポートネットやすぎにより、企業支援事業等を実施する。

- (独自事業)
 - 市内の学生等を対象にしたビジネスチャレンジ事業
 - 中小企業者等を対象としたセミナー開催
- (直接支援事業)
 - 展示会・商談会展展促進プログラム
 - 人材育成セミナー支援事業
 - 新商品新技術開発支援事業

36 産業振興事業(特殊鋼産業クラスター補助)【継続】 527万円

安来市の主要産業である特殊鋼産業でクラスターを形成している事業者集団を支援することで、市内製造業の更なる活発化、雇用の増加、設備投資の活発化、関連企業の新規立地等の効果を見込む。

37 観光キャンペーン事業【継続】 700万円

新型コロナウイルス感染症の影響により観光業態は様変わりし、持続可能な観光地づくりが求められているため、①新たな観光スタイルに対応したコンテンツの磨き上げ及び認知度向上を目的としたアフターコロナ対策事業、②需要回復に備えた受地整備を目的とした受入体制整備事業を実施する。

- ・アフターコロナ対策事業 5,000千円
- ・受入体制整備事業 2,000千円

38 月の輪まつり事業【拡充】 750万円

月の輪まつり振興会の行う各事業(花火大会・交通規制等)について補助する。

39 戦国尼子フェスティバル事業【新規】 500万円

5年に1度行っている第8回全国尼子一族大集会及び戦国尼子フェスティバル(前回は平成30年)を実行委員会を組織し、実施する。

平成27年度から令和3年度まで5か年計画で整備を進めた「月山富田城跡」と最盛期は山陰山陽11か国を勢力範囲とした戦国大名「尼子氏」を活かし、地域住民自ら企画し、地域のすべての世代が集えるイベントを開催し、地域の魅力を再認識する。

併せて尼子氏ゆかりの方々を全国から招くなど、地域の魅力を全国に発信する。

40 湯田山荘施設改修事業【拡充】 1億6,368万円

湯田山荘については、島根県採択の「小さな拠点づくりモデル地区推進事業」において冬季一時居住施設に位置付けており、さらに施設全体も老朽化していることから冬季一時居住の機能を備えたりリニューアル工事を行う。

また、企業版ふるさと寄附を財源として施設内にセルフランドリーを設置し、利用者の利便性の向上を図る。



サイクリングツアー



令和4年の月の輪祭りの花火の様子



戦国尼子フェスティバルの様子



湯田山荘宿泊研修室内

5. 都市基盤・生活 37億3,439万円

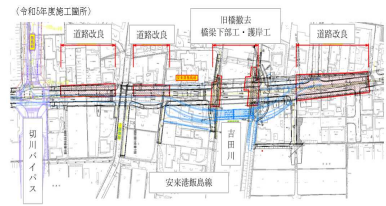
41 デマンドタクシー運行事業【新規】 701万円

利用者の予約に応じる形で、運行経路や運行スケジュールをそれに合わせて運行する地域公共交通の構築のため、宇賀荘地区で実証実験を行い、検証を行ったうえで、事業拡大又は新規輸送事業の構築を検討する。

42 安来港飯島線道路改良事業【拡充】 5億3,259万円

本路線は安来市内を東西に連絡する補助幹線道路である。当路線の沿道に小中学校があり、通学路として多数の児童・生徒が利用しているが交通量も多く非常に危険な状況であることから、児童・生徒の通学時の安全確保等が急務となっている。本事業により両側歩道及び車道の拡幅整備を行い、安全かつ快適な交通の確保を図る。

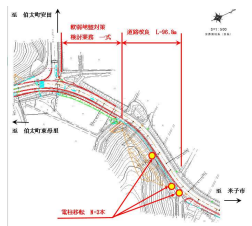
令和5年度は、吉田橋橋梁下部工、吉田橋橋梁上部工の一部を行う。



安来港飯島線 令和5年度施工箇所

43 原代宮内線道路改良事業【拡充】 5,600万円

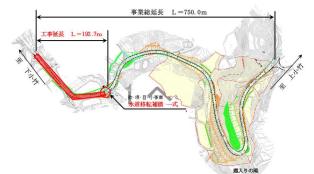
本路線は、伯太町安田中地区と東母里地区を結ぶ重要な路線である。沿線には既存の工場等が点在し、多数の大型車両が通行する。しかし、現況の道路は歩道が未整備であり、歩行者が非常に危険な状況であることから、早急な整備が必要である。令和5年度は軟弱地盤箇所の対策検討業務、仮設防護柵を設置して切土、水路工等の施工及び電柱の移転を行う。



原代宮内線道路改良事業

44 久之谷線道路改良事業【拡充】 3,530万円

下小竹地区と上小竹地区の往来の利便性を図り、対面通行及び公共交通の運行が可能な道路整備が必要であるため、拡幅工事を実施する。令和5年度は主にボックスカルバート工・舗装工および水道支障移転を行い進捗を図る。



久之谷線道路改良事業

45 公営住宅等長寿命化改善事業 【拡充】 1,362万円

公営住宅等長寿命化計画に基づき、既存市営住宅ストックをより効率的かつ長期的に活用するため、老朽化の進む既存市営住宅の改善工事を行い優良住宅形成に努める。
令和5年度は、市営糺団地の住戸改修を予定している。

46 内水対策事業 【拡充】 5,500万円

令和3年7月の豪雨により東飯島地区の一部で民家数軒に床下浸水被害が発生した。本事業は豪雨により浸水被害を受けたエリアの排水路機能等調査及び対策検討を行い、改善に向けた施設整備に取り組むものである。
令和5年度は仮設ポンプの設置、及びポンプ場用地を取得し、本設ポンプ場の整備を行う。



仮設ポンプ設置状況(令和4年7月)



47 移動通信用鉄塔整備事業 【新規】 3,120万円

携帯電話等不感地域の伯太町西母里(下卯月)に移動通信用鉄塔を建設し、アンテナ(局舎)を整備する。



整備予定地区(伯太町西母里(下卯月地区))



鉄塔建設イメージ(令和2年度 安来茅原局)

48 末広・大栄団地関連事業 8,054万円

(1) 公営住宅整備事業(末広・大栄) 【拡充】 5,256万円

第三次安来市公営住宅等長寿命化計画に基づき、既存及び将来の公営住宅等の整備に係る事業を行う。現在の末広・大栄団地を用途廃止し、1団地に集約し新たに公営住宅として整備を行う。

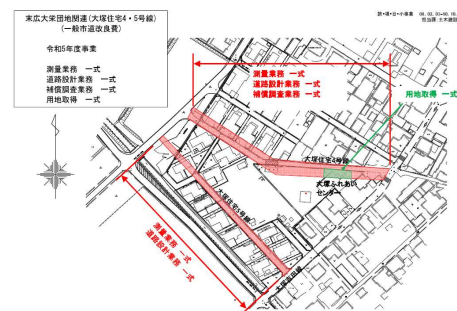
- 基本設計・実施設計・解体設計
- 地質調査・解析等調査・用地測量業務
- 移転補償費
- その他

	R4	R5	R6	R7	R8
基本設計		←			
実施設計		←			
建設工事			←	←	
地質調査等		←			
測量	←				
解体設計		←			
解体工事				←	←
移転		←			

事業実施スケジュール(予定)



現在の末広・大栄団地



末広大栄団地関連道路改良事業

(2) 大塚住宅4・5号線道路改良事業 【拡充】 1,650万円

大塚地区末広・大栄団地 建替計画に伴い、大塚住宅4・5号線の整備を行う。

- 測量業務
- 用地取得

(3) 消防団拠点施設整備事業(大塚分団) 【拡充】 1,148万円

大塚地区末広・大栄団地 建替計画に伴い支障となる大塚ふれあいセンター、大塚分団車庫、旧大塚分団車庫を解体し、新たに大塚分団車庫の整備を行う。

- 大塚ふれあいセンター等解体設計
- 大塚消防団車庫設計
- 大塚消防団車庫敷地用地取得

49 長谷津団地譲渡関連事業 4,028万円

(1)長谷津団地処分関係事業【拡充】 1,511万円

市営長谷津団地については、下記区画を令和5年度に建物解体条件付き入札を行い、民間へ譲渡を行う。また、他の区画においても入札に向けた準備を進める。

- 譲渡負担金費(債務負担行為設定済)
- 測量登記委託料
- 不動産鑑定委託料
- アスベスト調査手数料
- その他 入居者移転補償費等

(2)長谷津団地関連道路改良事業【拡充】 1,200万円

長谷津団地整備に伴い、長谷津団地関連道路の整備を行う。

- 道路改良工事

(3)長谷津団地水道管敷設工事【拡充】 1,317万円

長谷津団地整備に伴い、長谷津団地周辺の水道管工事を行う。

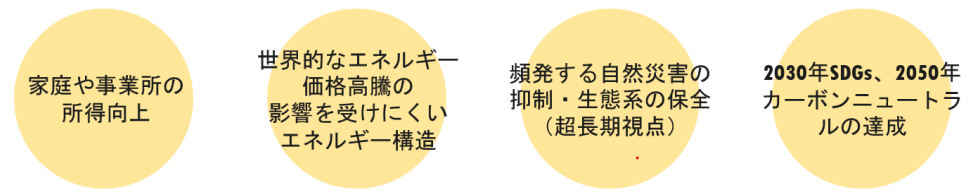
- 水道工事



6. 自然・環境保全 6億7,746万円

50 再生可能エネルギー普及事業(ビジョン関連)【拡充】 2,000万円

令和4年度策定の「安来市再生可能エネルギー地産地消ビジョン」に基づき、実行可能性調査、理解促進のための学習会等を実施する。



51 再生可能エネルギー普及事業【拡充】 378万円

太陽光発電システム・蓄電池設備、太陽熱利用設備(ソーラーシステム)の設置について、再生可能エネルギーの普及促進を図るため、設置費の補助を行う。

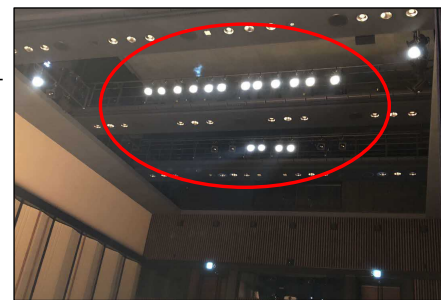
- ①太陽光発電システム等設置費補助
 - ・太陽光発電システム 補助額:太陽電池の最大出力に1kwあたり3万円を乗じて得た額
補助上限:12万円
 - ・蓄電池設備 補助額:7万円
補助条件:住宅用太陽光発電設備が設置されていること(同時設置する場合も含む)
補助上限:設置経費が7万円より少ない場合はその金額
- ②太陽熱利用設備設置費補助
補助額:補助対象経費に1/2を乗じて得た額
補助上限:30万円



太陽光パネル

52 総合文化ホール整備事業(LED化) 【新規】 1,300万円

総合文化ホール小ホールの演出照明器具のLED化を、R5～R8まで4か年の年次計画で行う。
※脱炭素化推進事業債(仮称)



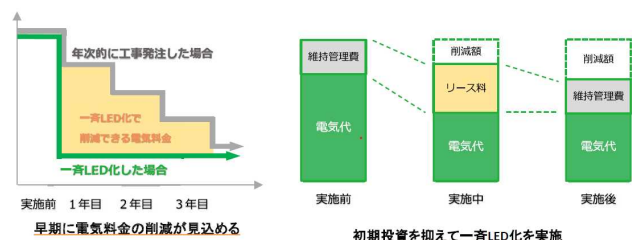
小ホール舞台照明のLED化(1/4期目)

53 南体育館照明器具整備事業(LED化) 【新規】 600万円

安来南体育館屋内球技場の照明器具16灯(うち2灯はLED化済)中14灯の水銀灯を全てLED照明に更新する。

54 屋外照明灯LED化事業 【新規】 1,200万円

安来市所管の屋外照明灯をリース事業(メンテナンスを含む)によりLED化を進める(10年間契約1年目)。一斉にLED化を行うことで、電気料金の削減を見込む。リース料には、調査業務・導入業務・維持管理・保証が含まれ、期間満了時に所有権は市に帰属する。



LED化のイメージ

7. 参画・協働・行財政 23億5,255万円

55 地域づくり推進事業 【継続】 1,000万円

地域課題解決のために行われる市民活動に対し補助金を交付し、活力ある集落・地域づくりを推進する。

- ①地域の魅力アップ事業 補助率:2/3 補助上限:20万円
- ②地域づくりジャンプアップ事業 補助率:2/3 補助上限:50万円
- ③小さな拠点づくり推進事業 補助率:10/10 補助上限:25万円又は50万円



東比田シバザクラ祭り

56 協働のまちづくり事業 【新規】 400万円

令和4年度の交流センターを核とした地域づくりのあり方検討委員会の議論を踏まえ、新たな組織や地域課題解決に向けた取り組みに対する支援と人材育成を一体として推進する。

【地域支援】

- ①地域運営組織立ち上げ事業 定額 補助上限:10万円
住民が主体的に活動を行う「地域運営組織」の立ち上げにあたり必要となる経費の一部を補助することにより、新たな組織の円滑な立ち上げを支援する。
- ②地域課題解決支援事業 定額 補助上限:20万円
地域における課題を共有し、その解決に向けた事業の立ち上げを支援する。
- ③重点施策支援事業 定額 補助上限:20万円
定住対策や空き家対策等、市が推進する重点施策について取り組みを進める経費の一部を支援する。



ガンガンブラッシュ

【人材育成】

- ④つなぐ!ひろがる!地域づくり支援事業 100万円
「学び」と「実践」による「循環型の次世代育成」による持続可能な地域づくりを目指し、次世代の地域づくりへの参画・育成を推進するとともに、地域住民と協働し、地域課題の解決に向けた取り組みを行う。

57 小さな拠点づくり推進事業 **【拡充】** 2,090万円

島根県から「小さな拠点づくりの取組についてのモデル地区」に選定された中山間地域において、住み続けられる地域づくりの取組みを5か年計画で実施する。

令和5年度は、移動販売車両の整備ほか、冬期一時居住施設等の備品整備を行う。



移動販売車

58 小型除雪機購入支援事業 **【継続】** 500万円

冬季の安全安心な生活を確保するため、住民の除雪活動に必要な小型除雪機の購入に対し補助金を交付する。

- 個人 : 補助率: 1/2 補助上限 10万円 (30件)
- 自治会 : 補助率: 2/3 補助上限 50万円 (2件)
- 自主防災組織 : 補助率: 2/3 補助上限 50万円 (1件)
- 生活支援協議体: 補助率: 2/3 補助上限 50万円 (1件)



小型除雪機

